

令和元年度

学校だより

\* 2月 \*



令和2年 1月31日 2月号 (第528号)

横浜市立すすき野小学校

TEL045 (901) 6232 FAX 045 (904) 4693

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/susukino/index.cfm>

さこやかスマイル さすんで考え行動し きょうかし合う すすきっ子

## 「諦めない 繰り返し続けること！」

校長 三橋 国雄

時の流れはとても速く感じます。新年のあいさつで始まった1月も終わり、2月3日(月)はもう節分です。「節分」は本来季節の移り変わるときの意味で立春・立夏・立秋・立冬の前日を指していました。特に立春が1年の初めと考えられることから次第に、「節分」といえば春の節分を指すものになりました。翌日の立春からは暦の上ではもう春を迎えることとなります。

さて、子ども達が何かを決意する日、または「やり直し」を誓う日が教育・心理カウンセラーの富田富士也氏によると1年に5回あると言われています。それは、新年スタートの正月、新学期が始まる4月、夏休み後の9月、冬休み後の1月、そして自分の誕生日です。しかし、少し前まではこの5つに1つ加えて6回だったそうです。

これは少し難しく、2月3日の節分です。節分というのはちょっと意外でしたが「豆をまき、邪を払ってやり直し」と言うことだそうです。そこで、この「決意する日・やり直しを誓う日」である節分を活用して、子ども達の決意を家族で再度確かめ、家族で1年の目標や決意を話し合い、できていないときは「○○○な鬼、鬼は外！」と言って豆をまき新たな出発ができたらいいのではないのでしょうか。

私は、毎年のように

「やらないといけないことを、つつい後回しにしようとする鬼！」

「してはいけないことだと分かっている、誰も見ていないからとささやく鬼！」

「自分さえ良ければ大丈夫、というわがまま鬼！」

と戦っています。このような鬼を退治するのは大変で、何度も同じ失敗を繰り返し、そのたびに決意を新たにします。しかし、自分はいつも失敗や過ちを繰り返すからと、決意や決心をやめてしまったら成るものも成らなくなってしまいます。子ども達の場合も同じではないのでしょうか。子ども達が何度失敗しても懲りることなく、親や家族、そして教師が励ましていくその繰り返しでうまくいくときが必ずあります。要は諦めないで繰り返し続けていくことが大切なことなのです。

話は変わりますが「繰り返し続けている」といえばすすき野小学校では、児童が登校する日はどんな天候でも見守りを繰り返して下さっている学援隊の皆さんがいらっしゃいます。実は1月16日に横浜市学校保健会より交通安全協力団体として感謝状の授与がありました。また横浜市教育委員会表彰地域協力団体として3月13日に表彰を受けることになりました。この活動は児童の安全のために繰り返し行って下さっている地道な活動が認められたのです。学援隊の皆さんありがとうございます。

今月も子ども達と一緒に今年度の学習のまとめと46年間の歴史を振り返りながらすすき野小学校のまとめをしていきます。今月も変わらぬご支援をお願いいたします。



